

高浜発電所2号機の定期検査状況について
(制御棒クラスタ動作検査時の制御棒の動作不良の点検状況)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力 82.6万kW）は、定期検査中の10月1日に、制御棒クラスタの動作検査として、制御用制御棒（全32本）について、自動制御にて全挿入位置から全引き抜き位置にし、再度全挿入位置に戻すオーバーラップ操作^{*1}を実施したところ、制御棒ステップカウンタ^{*2}では全ての制御棒が全挿入位置にあることを表示していたが、制御棒位置指示装置^{*3}では、制御棒1本がほぼ全引き抜き位置にあることを示していた。

このため、制御棒駆動軸の位置指示装置の点検を行った結果、位置指示装置に異常はなく、当該制御棒はほぼ全引き抜き位置にあると推定された。また、当該制御棒を手動にて挿入操作を行ったところ、制御棒駆動装置の電流波形が正常動作時とは異なる波形であったことから、制御棒駆動装置または制御棒の動作不良と判断された。

なお、この事象による周辺環境への放射能の影響はない。

*1：制御用制御棒を、全挿入位置から全引き抜き位置に引き抜き、再度、全挿入位置に挿入する操作を行った時に、各制御棒が予め定められたプログラム通り動作することを確認する検査

*2：制御棒の操作信号を数えて、制御棒位置を指示する装置

*3：電氣的にコイルを用いて制御棒駆動軸の位置を検出する装置

[平成19年10月2日記者発表済]

当該制御棒について、手動にて挿入および引き抜き操作を繰り返し行った結果、全挿入位置に挿入された。

今後、動作不良の原因を調査するため、原子炉容器上部ふたを開放した後、当該制御棒の制御棒駆動軸、制御棒駆動装置、制御棒クラスタ案内管等について点検する。また、制御棒クラスタおよび燃料集合体についても点検する。

(経済産業省による I N E S の暫定評価尺度)

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0 +	0 +

I N E S：国際原子力評価尺度

問い合わせ先(担当：伊藤)
内線2354・直通0776(20)0314

制御棒クラスタ動作検査時の制御棒の動作不良の点検状況

